

平成 29 年度複合老人ホーム野田市楽寿園
指定管理者管理運営状況調書

担当課 高齢者支援課

評価基準	評価項目	指定管理者 自己評価	担当課 評価	特記事項
入居者の平等利用を確保 するものであること	平等利用確保への取 組	B	B	
施設の効用（設置目的） が最大限発揮されるもの であること	適切な処遇計画の作 成及び実施について の方策	B	B	
	サービスの改善及び 向上（質の確保）の ための方策	B	B	
	特徴あるサービスの 提供のための方策	B	B	
	適切な機能回復訓練 等のための方策	B	B	
健康管理が適切であるこ と	適切な健康管理のた めの方策	B	B	
衛生管理が適切であるこ と	適切な衛生管理のた めの方策	B	B	
個人情報の適切な保護が 図られていること	個人情報保護のため の方策	B	B	
緊急時の危機管理体制が 確立されているか	苦情解決のための仕 組み	B	B	
	施設の安全管理につ いての方策	B	B	
	防犯及び防災のため の方策	B	B	
現金の取扱い等の経理処 理が適切に行われている こと	現金の取扱い	B	B	
指定管理に係る経費の縮 減が図られていること	経費縮減のための方 策	B	B	
雇用等への配慮はされて いるか	地元住民の雇用、物 品及び役務の調達に 係る地元業者への配 慮の方策	B	B	

総合所見

当該施設における平成 29 年 12 月末現在の延利用者数については、養護 8,384 人、特養 3,890 人、昨年度の同時期と比べて養護 193 人、特養 78 人の減少となるが、養護、特養ともに入院者の増加が主な要因となる。

現在、定員は養護 55 人、特養 15 人となるが、養護入所者の増加が見込めないことから、30 年 4 月に養護の 14 床を特養へ転換し、指定管理料の削減と介護保険の収入増を図る予定である。

社会福祉法人野田みどり会は、当該施設の指定管理者として 13 年の実績があり、事業計画に基づいた運営をしており、事故等について適切に対応している。また、サービスの改善・向上や経費縮減のための取組状況についても、28 年度と同様に創意工夫して取り組んでおり、指定管理者として問題なく施設運営を行っている判断する。

なお、当該法人の経営状況については、平成 28 年度の事業活動計算書において当期活動増減差額が約 4,200 万円のプラスとなっていることから、経営状況は安定していると判断する。